



1. 当日の時間割

9:30～11:30

- ・ 弊社産業印刷事業及びテキスタイル事業・関連製品のご紹介（説明会） 30分
- ・ シングルパス捺染機 ナッセンジャーSP-1、Nassenger10 その他製品ラインナップのデモ 30分
- ・ コニカミノルタ カスタマーエンゲージメントセンター（CEC） 30分
～ コニカミノルタのテキスタイル以外の産業印刷事業関連製品のご紹介 ～

2. 展示機種およびその概要（セールポイント）

1) Nassenger SP-1e

～ シングルパス方式による高生産性と、ダウンタイム低減機能によるランニングコスト低下により、SPA 型アパレル等の大ロット短納期ジョブに対応するフラッグシッププリンター ～

■ 要点

- ・ 2015年ITMAで発表したコニカミノルタのシングルパス捺染機・Nassenger SP-1はポルトガル、イタリア、フランス、トルコ、中国で計6台が量産稼働中。長時間連続生産での安定性に優れ、オペレーター工数を削減できる自動化機能とお客様密着による“使いこなし”レベルの向上により、アパレルを主とする繊維産業に貢献。本年6月のITMA2019ではインドの大手企業Shrijee Lifestyle社と新たにSP-1導入で合意。Shrijee Lifestyle社はムンバイ近郊に現在新工場を建設中で、19年末に新工場にSP-1設置予定。
- ・ Nassenger SP-1は、“Nassenger SP-1e”にアップグレード。ヘッド毎の微小な誤差や使用期間の違いによるヘッド性能誤差を均一に自動補正する自動電圧調整機能や、自動ヘッド位置調整機能等の自動化技術によりオペレーターの作業工数を大幅削減。また、新しいディザマトリックスの搭載により、印字品質、量産稼働安定性が大幅に向上。既に市場に設置しているNassengerSP-1にも新機能の追加搭載が可能。デジタル技術の革新で稼働率を更に向上させると共に、品質ロスやリスクを低減する事でお客様の投資対効果を高めている。

■ 機種の主な機能や訴求点

「高速で、かつ高い画質性能でビビッドな色再現」

- ・ 高解像度のモジュールヘッドを採用し繊細なデザインに対応
- ・ 高濃度なインクを搭載しビビッドな色を再現
- ・ 布に合った印刷モードの選択で鮮鋭性や高濃度化が可能
- ・ 独自開発のグラデーション補正技術によって色ムラやバンディングを解消
- ・ ラインプリンタ専用ノズル欠補完機能の採用でインクジェット特有の白スジによる印字欠陥を回避
- ・ ヘッドモジュール傾き検出機能により白スジと鮮鋭性と色ムらを低減
- ・ 独自開発の新ディザマトリックス法により色ムラが大幅に低減

「高い信頼性で、産業印刷で重要なダウンタイム時間を削減」

- ・ ウェット型ヘッドクリーニングでノズル欠復帰が容易でヘッドの長寿命化に寄与
- ・ レーザー光による吐出不良ノズル検知でプリント欠陥を事前回避
- ・ ヘッド内部の温度センサでヘッド単位の吐出液量を補正し色を一定に維持
- ・ 光学方式および機械方式による布浮き検知機構を搭載し布のジャム回避

- ・ 搬送速度を可変でき多種多様な生地の搬送が可能
- ・ 自動インク導入シーケンスによりヘッド交換時のインク充填作業が短時間かつ容易に
- ・ ヘッド交換時のメカニカルな調整が不要で、メンテナンスによるダウンタイムを大幅削減
- ・ 自動電圧調整機能によりヘッド本来の個体差および長時間使用によるヘッド状態の変化による色ムラやバンディングを解消

「豊富な機能と産業機器に適した操作性で様々なニーズに対応」

- ・ プリント状態が操作パネルで一目で把握可能
- ・ 不良プリントが生じても操作パネルからモード変更で画質維持可能
- ・ システム稼働状態をインターネット経由により遠隔で把握が可能
- ・ 操作パネルから離れて操作できるタブレットでのリモート操作が可能

2) Nassenger10

■要点

主要市場である欧州、トルコ、中国での高速機需要の増加に伴い、設置台数が増加している。前機種である Nassenger PRO1000 の 2011 年販売以降、8 年以上に渡って高速スキャン型プリンタのセグメントに製品供給や技術革新を行ってきた事により、市場での量産安定稼働実績が導入ユーザーより高い評価を得ている。デザインやお客様の運用に合った適切な印字モードを作業負荷なく選択できる事や、生地の種類に応じて生地搬送速度を変更する事が出来るなど、高い生産性だけではなく、少ないオペレーションで、品質ロスやリスクの少ない運用が行える事が最大の特徴。最大 9 色までの対応が可能で、特色や淡色を含めたインクセットで広い色域と滑らかなグラデーションをご提供できる。

■機種の主な機能や訴求点

「高速で、かつ高い画質性能でビビッドな色再現」

- ・ 小液滴吐出可能なヘッドを採用し粒状性向上
- ・ 高濃度なインクを搭載しビビッドな色を再現
- ・ 布にあった印刷モードの選択で鮮鋭性や高度化が可能
- ・ 独自開発のプリントマスク技術によって色ムラやバンディングを解消
- ・ ノズル欠補完機能の採用でインクジェット特有の白スジを解消

「高い信頼性で、産業印刷で重要なダウンタイム時間を削減」

- ・ ウェット型ヘッドクリーニングでノズル欠復帰が容易でヘッドの長寿命化に寄与
- ・ レーザー光による吐出不良ノズル検知でプリント欠陥を事前回避
- ・ ヘッド内部の温度センサでヘッド単位の吐出液量を補正し色を一定に維持
- ・ 光学方式による布浮き検知機構を搭載し布のジャム回避
- ・ 機械方式による布浮き検知機構を搭載し布のジャム回避
- ・ 搬送速度を可変でき多種多様な生地 of 搬送が可能
- ・ リニアモータの採用で安定的にスキャンニング
- ・ 自動インク導入シーケンスによりヘッド交換時のインク充填が容易

「豊富な機能と産業機器に適した操作性で様々なニーズに対応」

- ・ プリント状態は操作パネルで一目で把握可能に
- ・ 不良プリントが生じても操作パネルからモード変更で画質維持可能に
- ・ システム稼働状態をインターネット経由により遠隔で把握が可能に

3) Nassenger8

■要点

上位機種である Nassenger10 と高い互換性を持ち、見本製作や長時間の量産にも安心してご使用いただけるプリンタ。欧州、トルコなどの先進エリアだけではなく、インクジェット需要が増加しているインド、中国をはじめとするアジア地区で設置が増加している。日本では、株式会社日興染織様に京都地区初となる、Nassenger 8（分散インク）を導入。デザインの多様化、納期要望など昨年来インクジェット加工が満杯の状況が続き、生産能力増強の為に Nassenger8 を増設された。

■機種的主要な機能や訴求点

「中速で、かつ高い画質性能でビビッドな色再現」

- ・ 小液滴吐出可能なヘッドを採用し粒状性向上
- ・ 高濃度なインクを搭載しビビッドな色を再現
- ・ 布に合った印刷モードの選択で鮮鋭性や高度化が可能
- ・ 独自開発のプリントマスク技術によって色ムラやバンディングを解消
- ・ ノズル欠補完機能の採用でインクジェット特有の白スジを解消

「高い信頼性で、産業印刷で重要なダウンタイム時間を削減」

- ・ ウェット型ヘッドクリーニングでノズル欠復帰が容易でヘッドの長寿命化に寄与
- ・ レーザー光による吐出不良ノズル検知でプリント欠陥を事前回避
- ・ ヘッド内部の温度センサでヘッド単位の吐出液量を補正し色を一定に維持
- ・ 光学方式による布浮き検知機構を搭載し布のジャム回避
- ・ 機械方式による布浮き検知機構を搭載し布のジャム回避
- ・ 搬送速度を可変でき多種多様な生地 of 搬送が可能
- ・ リニアモータの採用で安定的にスキャンニング
- ・ 自動インク導入シーケンスによりヘッド交換時のインク充填が容易

「豊富な機能と産業機器に適した操作性で様々なニーズに対応」

- ・ プリンタ状態は操作パネルで一目で把握可能に
- ・ 不良プリントが生じても操作パネルからモード変更で画質維持可能に
- ・ システム稼働状態をインターネット経由により遠隔で把握が可能に

3. 御社としてのデジタルテキスタイルへの取り組み（開示可能な範囲で結構です）・訴求点

- ・ 高生産機種におけるダウンタイム、品質ロス削減への取り組み

SP-1 を始めとする上位機種への新たなインクジェット技術の投入により、自動化と品質ロスの削減に注力。

シングルパスでは初期段階からお客様に密着し、量産稼働におけるご要望を伺いながら、高速機種を最適に現場で使いこなす機能やサービスの拡充を実施。生産速度の向上が一定レベルに達した状況において、デジタル捺染の価値である短納期、表現の自由度、量産準備の短縮化などにより、投資対効果を高める活動に注力している。

- ・ パートナー協業による捺染の新たな表現力深化に挑戦

東伸工業株式会社に Nassenger10 をベースとしたインクジェットプリント部を供給し、パートナー連携によりハイブリッド捺染機「iugo」を ITMA2019 で発表。スクリーン捺染機業界で業界 TOP クラスのシェアを持つ東伸工業と連携により、スクリーン

とデジタルを融合した新たな染色技法で、染工所様に新たなデジタルプリントの選択肢を提供。ハイブリッド化により、インラインでインクジェット用の前処理が出来る他、インクジェットでは使用できない染色材料を使用した高付加価値加工が可能。また、双方の優位性を生かした加工により生産性や品質を向上。スクリーン捺染からインクジェットへのブリッジ役を果たすと共に、両方の装置を活用している染工所での柔軟な装置活用により、新たな差別化プリントが創出されることに期待。

4. そのほか、御社の広報になると思われることなんでも

欧州エリアと比べ、日本ではデジタル捺染加工での「デザイン入稿から量産開始までの準備期間」に多くの時間を費やしているケースが多い。コニカミノルタは、お客様およびお客様への発注業者と連携し、各デザインの目標色の認識合わせに掛かる時間および工数を削減し、テキスタイルプリンタで高い精度で色再現する仕組みの構築を進めている。

遠隔地でも発注者、受注者が目標色の認識が合わせられ、お客様と連携しながら最終成果物の色管理を行う事で、デジタル捺染を活用した製品生産リードタイムの短縮と準備工数削減による省人化が可能に。

その他、コニカミノルタは弊社インクジェット捺染機を導入して頂いたメリットを最大限に活用できるソリューション提案を導入企業様と一緒に検討する活動も実施。日本市場のインクジェット捺染機のプリントの新規需要を創出や、導入企業のプリントジョブ受注の促進支援を行いながら、お客様と一体となった Win Win の関係構築を今後も進める。